

寄せられた意見と札幌市の考え方

① 子どもが意見を言ったり、参加したりする機会を増やすことについて

子どもからの意見

- ・子どもはいつも「子どもだから」「子どもが」などと言われて、意見をそうそう言えなかった。「子ども運営委員会」ができれば、意見を言えるようになると思う。
- ・意見を言うのが不得意な子もいるので、一部の子どもだけの意見で活動するのではなく、より広く子どもの意見を聞いてほしい。 など・・・

札幌市の考え方

主に子どもが利用する施設では、児童会館以外にも「子ども運営委員会」をつくったり、市役所が新しい仕事を始めるときには、「子ども企画委員会」をつくったりするなど、できるだけ多くの機会に、広く子どもの意見を反映できるよう取り組んでいきます。こうした考え方を、きちんと計画の中に盛り込み、計画を進めていきます。

② 子どもの学びや体験の機会を増やすことについて

子どもからの意見

- ・職業体験によって、働くことの意味だけではなく、楽しさ、大変さをより深く実感できるし、親の苦労もわかる。また、親への感謝の気持ちも強くなると思うし、将来仕事をしたときも、経験を生かしていける。
- ・「札幌らしい特色ある学校教育」は、札幌の街に自信や郷土愛を持てるよい取組

など・・・

札幌市の考え方

職業体験は、子どもが、働く楽しさや大変さ、社会の仕組みを知ることができる、とても重要な取組だと考えています。

市内では、学校と民間の会社などの協力により、子どもが、実際にお店などを訪問して職業体験を行っています。学校や地域、民間の会社などへ働きかけながら、このような機会がより一層充実するよう、進めていきます。

また、札幌市の全ての幼稚園や学校が、「札幌らしい特色ある学校教育」として、「雪」「環境」「読書」のテーマに沿った取組を進めることで、心の中に「ふるさと札幌」の意識を持ちながら、将来の札幌を支え、世界で活躍する自立した市民・社会人として育てていくことができるよう取り組んでいきます。



③ 子どもが安心して過ごす「居場所」づくりについて

子どもからの意見

- ・児童会館を知らなかったのもっとPRしてほしい。
- ・児童会館が近くにないときは、ミニ児童会館があるのは、とてもよい。
- ・公園でスキーやスケート、ボール遊びができるようにしてほしい。
- ・学校に行きにくくなって、フリースクールに行きたいと思っても、近くになくていきずらい人もいるから、できれば増やして学校の人から行けなくなった人にすすめたりすると、もっとたくさんの方が学校以外でも学べると思う。 など・・・

札幌市の考え方

児童会館は、すべての子どもたちの放課後の居場所として、いろいろな年齢の子どもたちが集団で遊ぶことを通して、交流を深めることができる、とても大切なところです。これからも、児童会館を多くの人に知ってもらい、安心して利用してもらえるよう、さまざまな遊びや活動を充実していきますので、ぜひ積極的に利用してください。

公園づくりに当たっては、今後も、より親しまれる公園となるよう、利用する人や地域の皆さんと協力して取り組んでいきます。また、できるだけ多くの機会を通じて、公園づくりに子どもの意見を反映できるよう取り組んでいきます。

また、学校以外の場所でも子どもが安心して過ごすことができるよう、フリースクールなど民間の施設の人たちとも協力していきます。

④ 子どもが中心となって行う活動について

子どもからの意見

- ・ボランティア活動を行うのはよいと思う。
- ・他人と交流をしたり、たくさんの経験をすることによって、自分のためにもなるし、公園などで子どもたちのやりたいと思ったことをなるべくできるようにすることは、子どもが責任をもって他の子と交流をすることができてよいことだと思う。 など・・・

札幌市の考え方

ボランティア活動、サークル活動、スポーツ活動など、子どもが中心となって、友だちや大人と一緒に参加できる機会を地域の皆さんや関係する団体と協力して応援していきます。

また、身近な公園などで、皆さんが、自分のやってみたいと思うことに自由に取り組めることが大切です。そのためにも、地域の人たちと協力しながら、公園の使い方などを考えていきます。

